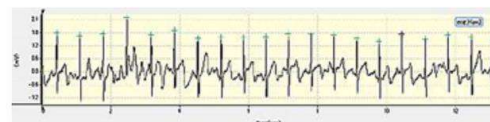


⊕ オプション機能

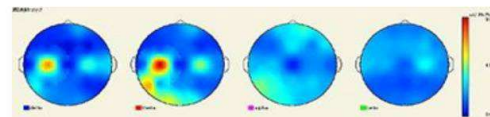
心電図解析オプション

心電図の生波形からR波を自動検出し、HR、R-R間隔、LF/HF等のパラメータ算出が簡単に行えます。（心拍変動解析）



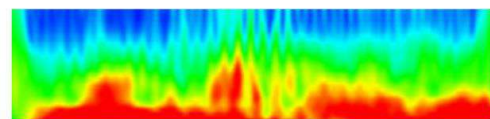
脳波解析オプション

周波数解析により、各帯域毎の周波数マッピングを行います。



ウェーブレット解析オプション

筋電図波形に対して、時間的に変化する周波数とパワースペクトルの解析を実現します。



ビューア出力オプション

ビューア付きでデータをエクスポートできます。
出力したファイルを別のPCにコピーすることで、
ライセンスキーなしでKineAnalyzerの全ての標準機能が使用できます。



仕様

分析項目	マーカ座標	xyz座標、速度、加速度、マーカ間角度、角速度、角加速度、マーカ間距離、距離変化速度、距離変化加速度
	筋電図	生波形、全波整流、包絡線、RMS、SD、FFT Mean、FFT Median、%MVC、周波数解析（FFT）
	床反力	COP計算、合成床反力、床反力ベクトル表示
歩行分析項目	時間因子（立脚期、遊脚期、両足支持期、歩行周期、ケイデンス）、距離因子（ストライド長、ステップ長）、 平均値（標準偏差、変動係数）、歩行周期による各グラフの正規化、仮想重心計算、リサージュ概観図、 異常歩行の指標値計算、クリアランス指標の計算、関節モーメント計算（DIFFGait使用、床反力が必要）	
表示機能	動画、スティックピクチャ、時系列グラフ、正規化グラフ、リサージュグラフ、Circular Phase Plot、 サムネイル、棒グラフ、リサージュ概観図、異常歩行レーダーチャート、クリアランス指標グラフ、時間因子・距離因子	
比較機能	複数データ同時読み込み（最大4データ）、各グラフ領域の重ね書き、動画の重ね書き、 同一空間へのスティックピクチャの描画	
数値計算	潜時、面積積分、振幅積分、平均値、RMS、SD、最大値、最小値、ピーク検索、数値リスト、 周波数解析（Mean、Median、含有量、含有率）、相関係数	
出力データ	各データのCSV出力、ビットマップ出力、メタファイル出力、画面の動画出力、 データのエクスポート・インポート	

- プログラム名、システム名は、一般に各メーカーの（登録）商標です。
- 本カタログに掲載されている製品の色は、印刷の都合上、実際のものと異なることがあります。また、改良のため予告なく仕様を変更することがあります。



本 社 公 共 ・ 医 療 ソ リ ュ ー シ ョ ン 事 業 部
〒390-1293 長野県松本市和田4010番10
TEL：0263-48-5551(直通) FAX：0263-48-1284
E-mail：motion@comtec.kicnet.co.jp

URL <https://www.kicnet.co.jp/>

活用事例はこちら
弊社ブログ
「計測してみた」



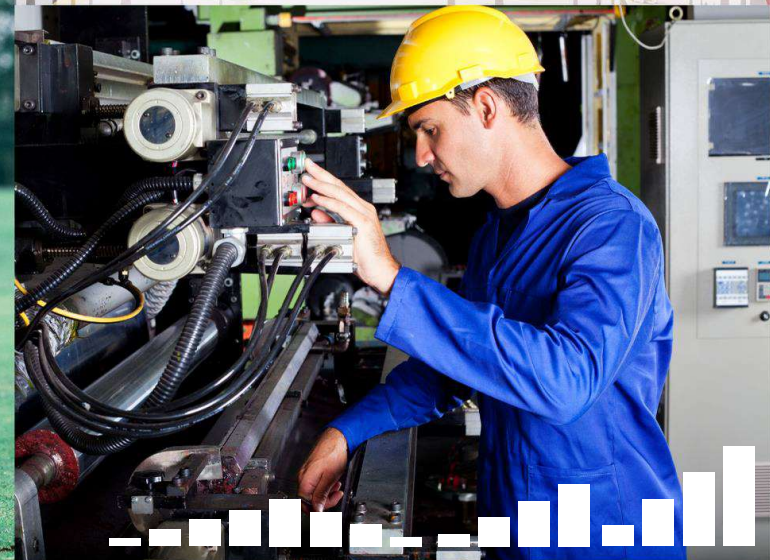
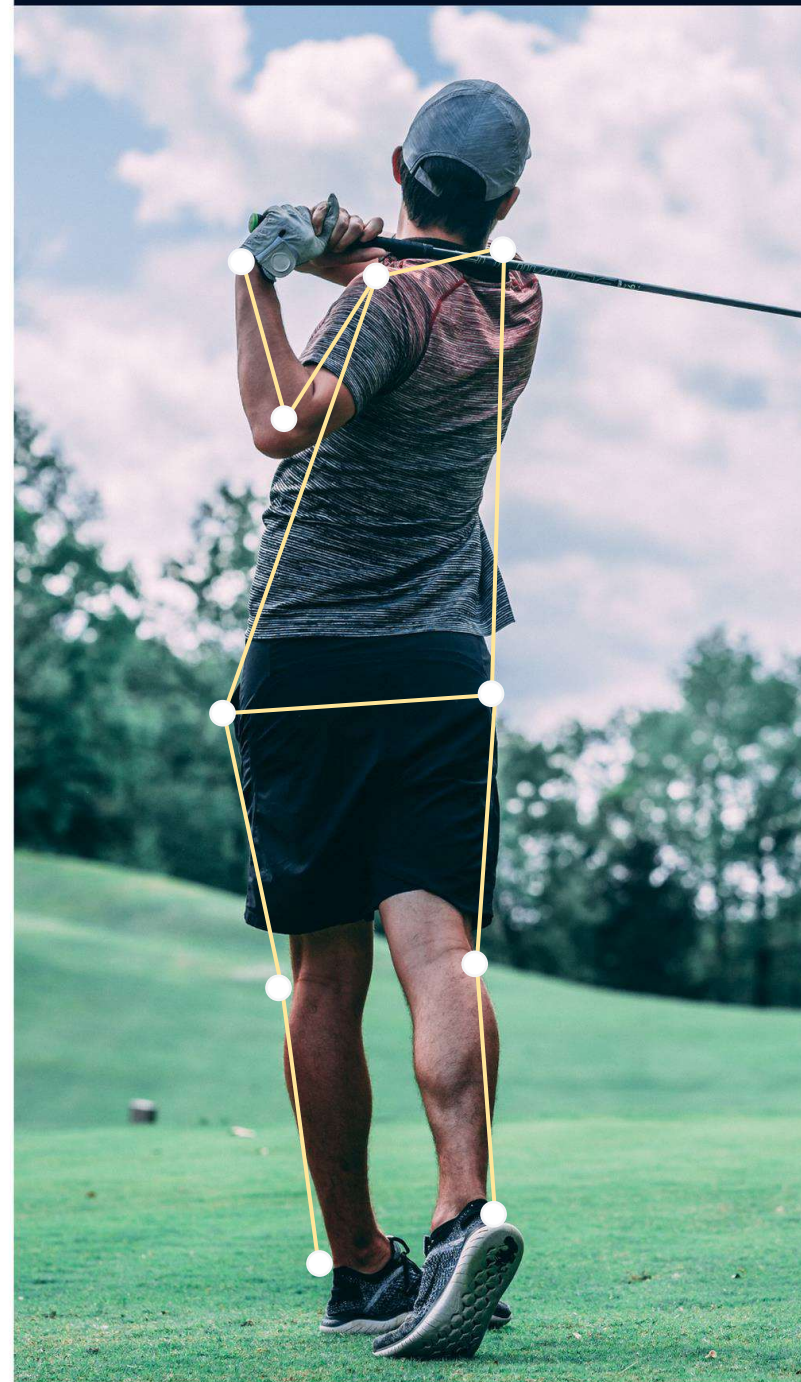
【お問い合わせ先】
株式会社プレシャスワーク
URL：<https://preciouswork.jp/>
担当：大井稔・吉野智昭
TEL：090-6068-7382(大井)
090-1330-9420(吉野)
E-mail：ooi@preciouswork.jp(大井)
yoshino@preciouswork.jp(吉野)



KISSEI COMTEC

データ統合解析プログラム キネアナライザー

KineAnalyzer



KineAnalyzer



KineAnalyzer 4つの特長

特長①

データ統合

動作データ、動画データ、アナログデータなど、同時計測した複数のファイルを統合して解析できます。



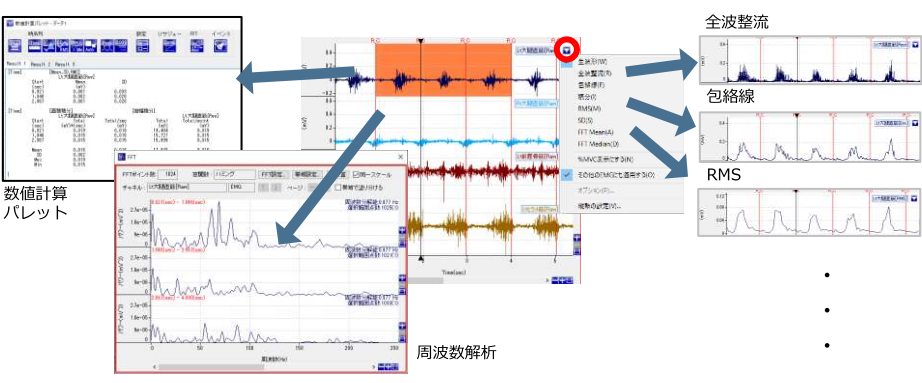
特長②

豊富な解析機能

取り込んだデータを多面的に分析可能で、動作を眺めるだけでは気付かないような特徴の発見をサポートします。

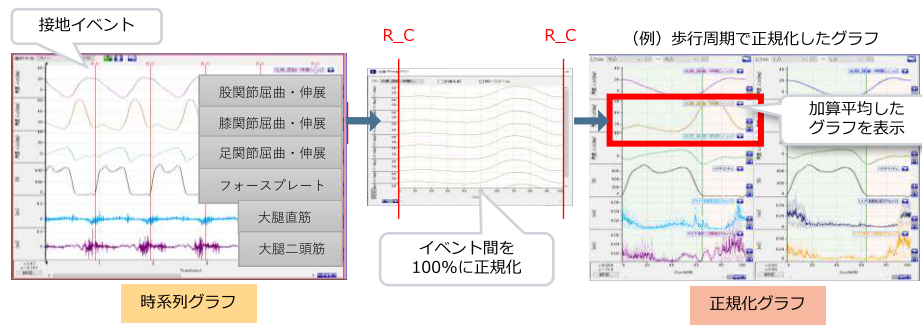
時系列グラフ

ボタン1つで簡単に解析内容を変更できます。
グラフで選択した範囲に対する計算（最大、最小、平均、etc.）や、周波数解析することもできます。



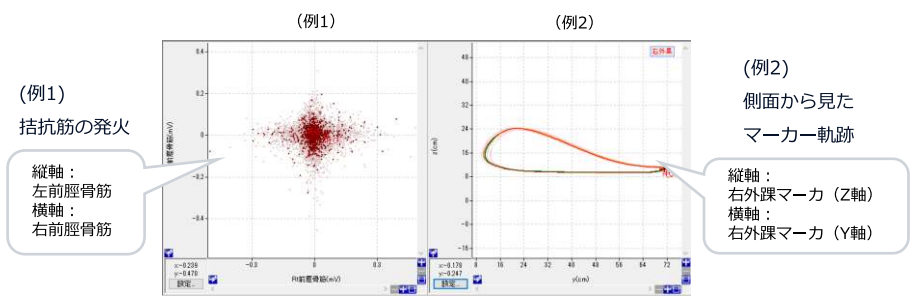
正規化グラフ

歩行のような繰り返し動作に対して一動作ごとにイベントを設定することで、長さを揃え平均することができます。
周期動作の特徴を捉えるのに役立ちます。



リサージュグラフ

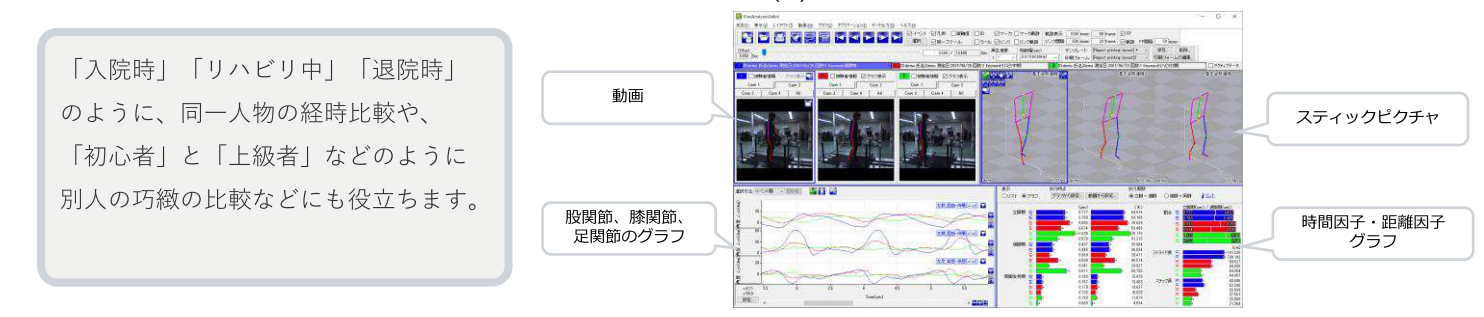
縦軸と横軸を自由に設定できるグラフ領域です。
拮抗筋が独立して発火している様子や、マーカの軌跡をグラフ上に描画できます。



特長③

データの比較

複数のデータ（最大4データ）を同時に開いてデータを比較することが可能です。

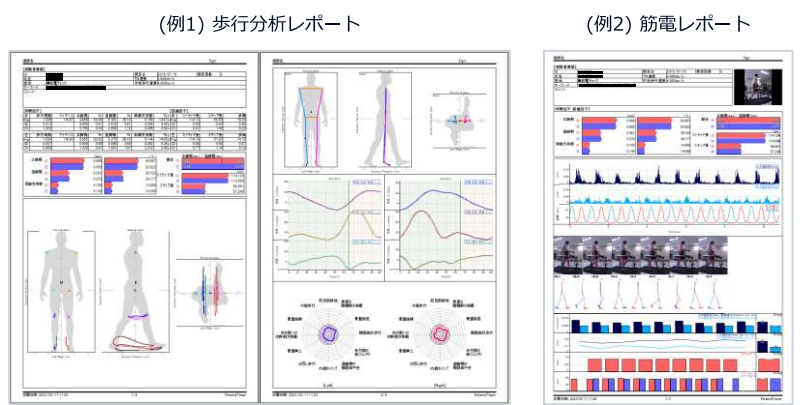


特長④

レポート作成機能

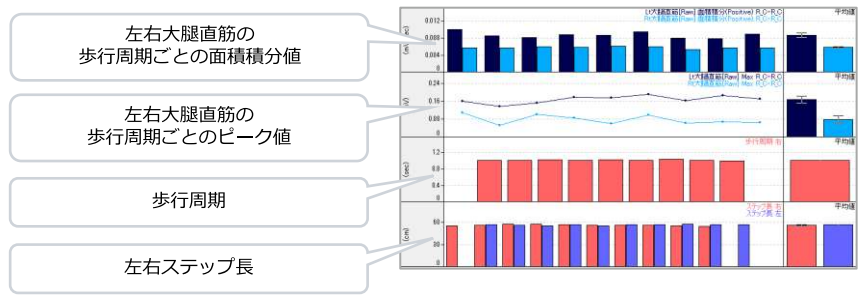
レイアウトを任意に変更して、レポートとして出力可能です。

解析結果を資料として共有する際に役立つ機能です。
KineAnalyzerオリジナルの歩行分析機能を盛り込んだ歩行レポートも出力可能です。



棒グラフ

データを特定の区間単位で切り出して、その区間毎の変化を観察することができます。
細かな変化を観察する時系列グラフと比べ、計測全体の流れ（トレンド）を観察することに適しています。



サムネイル

任意のタイミングの動画やスティックピクチャを並べて表示することができます。
画像をクリックすると、グラフ上のその瞬間までジャンプします。

